

協賛企業賞

一人ひとりが努力して、地球温暖化を防ごう

御成門小学校 小林 令奈

地球温暖化は、地球上の熱を吸収し閉じ込める働きのある二酸化炭素が大気中に増加し、地球の平均気温が上がり続けてしまうという環境問題です。

地球温暖化は、次のようにして起こりました。1700年代後半にイギリスで産業革命が起こって以来、工業のエネルギー源として、石油や石炭が大量に消費されるようになりました。ところが、石油や石炭を大量に燃やしてしまうと大量の二酸化炭素が発生してしまうのです。それで、工業の発達とともに、世界各地の工業都市で大量の石油や石炭が燃やされるようになり、大量の二酸化炭素が大気中に排出されてしまいました。工業都市だけではなく、電気を大量に使うことで、発電量の約70%を火力発電所にたよっているため、大量の石油や石炭が燃やされ、大気中に二酸化炭素が排出されてしまうのです。

地球温暖化が進んでいくと、いろいろな異常気象による災害が起こってしまいます。例えば、各地で洪水や干害などが起こり、農作物の不作や食料不足などの問題を引き起こしてしまいます。ほかにも、南極や北極圏の氷河など、陸地にある氷が海に流れ込むことで、海面が上昇して、太平洋の島々やオランダのような低地が多い国では、海面の上昇により、多くの土地が水ぼつし、大きな被害が出てしまったりすることがあります。

地球規模の大きな災害を引き起こすおそれのある地球温暖化を防ぐために、1997年には、京都に世界中の国の代表者が集まり、「地球温暖化防止京都会議」が開かれました。この会議で、日本は、2008年から2012年までに1990年の排出量と比べて、6%減らすことが目標として定められました。この目標を達成するには、二酸化炭素の排出量を減らすことが大切です。

家庭での温暖化防止があります。

1つ目は、電気のむだをなくすることです。火力発電所では、電気をたくさんつくるために大量の石油や石炭が燃やされ、大量の二酸化炭素が大気中に排出されてしまうからです。

2つ目は、自動車の使用を少なくすることです。自動車は、主に石油からできた燃料で走るので、排気ガスに二酸化炭素がふくまれています。外出のときは、公共の交通機関を利用するのがいいと思います。

3つ目は、水のむだをなくすことです。水道水は、川から水を引くので、浄水場で薬品を入れなければなりません。その薬品をトラックなどで運ぶとき、二酸化炭素が排出されてしまいます。特に大事なのはこの3つです。ほかにも、テレビを1時間消すこと、アイドリングを5分やめることなどもあります。

私も、温暖化防止をやると思います。

私たち一人ひとりができるだけ省エネルギーを心がけて、地球温暖化を防ぎましょう。